

4/8(月)~10(水)

オオトモトモ 難攻不落の戦国バンク

日刊スポーツ新聞社杯 & ニッカンコム杯争奪戦(FI)

スマートリレー

予想の欲望と感覚を刺激せよ!

俺の刺激はいつでもMaxだぜ!

スピード自慢が多数 仁王立ち! 地元和田真久留



河端朋之 (S1 岡山 95期)

中四国からはスピードスターが参戦。まずはナショナルチーム時代には世界選手権の「ケイリン」種目でメダル獲得の河端朋之。スーパーダッシュを生かしたカマシ・捲りは爆発力があり、333走路では別線を突き離すかもしれ



和田真久留 (S1 神奈 99期)

S級 春爛漫の戦国バンク小田原競輪場、4月8日~10日の日程でFIシリーズ開催。地元戦めっぽう強い和田真久留が全国の強敵を迎え撃つ。地元戦は9月開催の平塚、当所をともに完全V。今シリーズは地元戦3連続完全Vに挑戦。近況はラインの先頭で戦うなら、先行も視野にシャープな捲りを使い分ける。援軍には2班ながら特選クラスの實力を誇る松坂洋平、千葉からはオールラウンドの鈴木裕、静岡からは2月開催で優参の渡邊雅也。南関ラインのパワーを結集して強敵に立ち向かう。

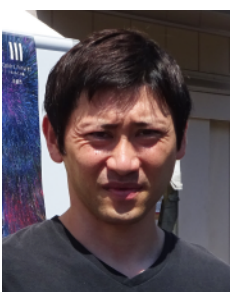


太田竜馬 (S1 徳島 109期)



菅田孝道 (S1 宮城 91期)

ない。四国からは太田竜馬。1月の川崎記念GⅢの落車から長期欠場中(3/6現在)ではあるが、本開催までには時間があるだけに間に合わせてくれば、そのスピードは魅力。もう一人、愛媛から参戦の真鍋智寛は本開催推しのヤングパワー。レベルの高い121期生にあってもトップクラスのダッシュ力を計測。その秘めた能力はこれから本格化するはずで大注目。北日本からも実力者の菅田孝道が参戦。流れや対戦相手に応じた多彩な戦術は、後手を踏めば苦しい短走路の戦いでは大きな武器。関東からはキメ脚シャープな追込型の武藤龍生、恩田淳平、横山尚則。自在型の杉森輝大、鈴木竜士は展開次第ではロングの仕掛けも用意の参戦。九州では松岡辰泰が存在感を示す。近況の成績はやや物足りないが、縦横無尽な攻めを展開できるのは333走路向き。



金子哲大 (A1 埼玉 95期)

テ脚シャープな上吹越直樹。333走路ではいざとなればショートの捲りも準備。機動型池部壮太との連係で勝機をつかむか。

A級 個性派の参戦 盛り上がるV争い



菅原裕太 (A1 静岡 100期)

南関をリードするのはオールラウンドの菅原裕太。前で戦うならカマシ・捲りの自力勝負から、先行の番手飛び付きまで何でも用意。千葉から参戦の新鋭荒川仁らが勝ち上がれば番手からV取り。関東では金子哲大。同県の若手熊崎麻人との連係叶えば番手から二段構えのタテ攻撃。西日本からもV有力候補が参戦。前期S級の實力派吉武信太郎。徹底先行の矢部駿人との中四国タッグは別線にとっては脅威。四国では都築巧にも注目。デビュー・当時からタテ勝負だけではなく、先行の番手勝負に出るなど新人のレースとしては異彩を放つ。九州からはタテ脚シャープな上吹越直樹。333走路ではいざとなればショート